

# かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ 所在地：南巨摩郡富士川町鞆沢771-2

TEL：0556-22-8154 FAX：0556-22-8144

HPでカラー版が御覧になれます。URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

## ☆☆ 峡南地域教育推進連絡協議会総会（地推協総会） ☆☆☆

7月11日（金）に身延町総合文化会館において、平成26年度の峡南地域教育推進連絡協議会(地推協)の総会が開催されました。6月に行われた理事会の審議事項に基づいて、会長及び副会長をはじめ理事、委員など関係者37名が出席しました。平成25年度の事業・決算について承認、平成26年度の新役員、事業と予算の審議が行われ承認されました。

### ◆ 平成26年度の主な地推協役員

会長 中込 文江 氏（富士川町教育委員長） 副会長 望月 一照 氏（早川町教育委員長）  
副会長 深沢 肇 氏（早川町教育長） 副会長 若林 毅文 氏（増穂商業高等学校長）  
副会長 丹沢 真樹 氏（峡南PTA協議会会長）

※ 地推協の事業等については、富士川町教育委員会生涯学習課（26年度事務局）または峡南教育事務所まで御連絡ください。

### かけはし129号の紙面

- p1 峡南地域教育推進連絡協議会総会・人権講演会・峡南地域教育フォーラム
- p2 連載特集『峡南地域の食材』No.2
- p3 思春期体験学習・放課後子ども教室
- p4 子育て支援・砂防教室・学園祭

## 人権講演会「女性と子どもの健康と人権」

地推協総会后、山梨県立大学看護学部の伏見正江教授をお迎えして、「女性と子どもの健康と人権」について御講演をいただきました。女性と子どもの健康を蝕む暴力の問題、DV防止教育、人権と社会規範、男女平等、女性や弱者に対する人権侵害等、世界と日本の現状についてお話をいただきました。



## 平成26年度 峡南地域教育フォーラム

地推協ではその活動の大きな柱の一つとして、地域教育フォーラムを毎年開催しています。子どもや学校と地域とを結んで、様々なテーマにそって考える機会としてきました。今年度は、身延町教育研修センター「向学館」における優れた実践紹介、そして茨城大学生涯学習教育研究センターの長谷川幸介氏の御講演を通して、学校・家庭地域の果たすべき役割を明らかにし、互いに連携を図り、それぞれの立場でどのように教育活動を展開していけばよいのかを考え、子どもの健やかな成長のために、互いに理解を深めていただく学習の場としたいと思います。

◆期日：平成26年8月26日（火） 午後1:30～4:30（受付 午後1:00～）

◆会場：身延町総合文化会館（2F 会議室）

◆内容：実践発表 「地域の子は地域で育てる」

身延町研修センター向学館代表 千須和繁臣 氏

講演会 「子どもをとりまく地域の力」

茨城大学生涯学習教育研究センター 長谷川幸介 氏

**お問い合わせは峡南教育事務所までお願いします。**

◆申込：峡南教育事務所 地域教育支援担当（TEL 0556-22-8154）まで御連絡ください。  
なお、学校・教育委員会等からは、所定の用紙に取りまとめて8月5日（火）までお願いします。

# ☆☆連載特集 『峡南地域の食材』No. 2

## 早川町「手づくりハム」と「食改さん」



### 1 早川町の自然環境、南アルプス活性化財団

深緑の森。澄んだ空気。透き通った清流。温度差の少ない気候。南アルプスの麓に位置する日本一人口の少ない町、早川町。平成28年9月30日、町制施行60周年を迎えます。早川町山菜祭りが、毎年5月3日に町をあげて早川中学校校庭で開催され、多くの観光客が訪れています。恵まれた自然環境を財産に、自分たちの手で特産品を創ろう、生き生きとした町作りを目指そうと南アルプス活性化財団が昭和63年4月1日に発足し26年目を迎えました。「地域資源を生かした、活力ある地域づくりと特産品開発の強化及び地域産業の増進を図る事業」を柱とした商品開発、販売及び情報発信をしています。今回は財団が昭和63年6月から製造販売をしている手づくりハム・ベーコン等を紹介します。

### 2 早川町食生活改善推進委員会「食改さん」による活動

早川町は県内で一番早く栄養改善推進委員会を昭和39年4月1日に発足させ、町内の栄養改善に取り組む活動を行ってきました。その後、平成6年4月1日に現在の早川町食生活改善推進委員会を発足させ活発な活動を行っています。現在会員は30名です。委託事業は勿論のこと、自発的に行っている「男性の料理教室」・「各集落への伝達講習」・「こどもの食育教室」・「リハビリ教室でのおやつ作り」「福祉と健康まつり」と「山菜祭り」「紅葉とソバまつり」に参加し「食改さん」の存在意義のPRと食育の啓発や普及活動を行っています。「食改さん」の一番自慢できる活動は、地産地消をモットーとする「健康料理発表会」を毎年開催していることです。新鮮な地元の旬の食材を活用した、安全で安心な創作料理の発表会です。町長や保健所の栄養士さんをお迎え、講評やアドバイスを頂いています。また、早川町は「早川の明日への計画（新長期総合計画）」の施策の一つとして「ほれ、もっと食べしー」食から築く早川町の未来を合言葉に平成23年3月10日～平成28年3月9日までの5カ年計画で「早川町食育推進計画」を策定し、この計画に基づき「食改さん」は活発な活動をしています。



平成26年度早川町  
食生活改善推進委員会  
会長 辻美江子 様 (右→)  
顧問 望月信子 様 (中央)  
副会長 近藤節子 様 (←左)

### 3 手づくりハム etc.

山梨県産豚を使用し、添加物を最低限に抑え素材そのものの味わいを提供しています。手づくりハム工房で製造されている商品は、ハム・ベーコン・ソーセージ・フランクフルト。道隣にある麓の直売所&Cafeで販売されている他、県内の飲食店に卸しています。山菜祭りやそば祭りのイベントでは焼いたベーコンに長蛇の列ができるほどの人気で、どれも知る人ぞ知る逸品です。



手づくりハム工房と麓の直売所&Cafe

手づくハム・ベーコン等

出典：早川町応援団獲得マガジン やまだらけ No.62 DECEMBER 2013



HPでカラー版が御覧になれます。  
<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>





# 中学生思春期体験学習 増穂、久那土、下部中でスタート！ お母さんや赤ちゃんをはじめ、関係者の皆さんに感謝！

峡南地域全 12 中学校  
2 学期までに完全実施



事前学習



人形を使って  
プレ実習



おもりをつけて  
妊婦体験



助産師さんからマ  
ッサージの仕方  
を伝授されて！



ベビーマッサージ

この事業は、峡南地域すべての中学生を対象に、学校・町・保健福祉事務所・教育事務所の4者が協力して実施しています。各校の教育課程にも位置づけられ、今年で16年目を迎えています。6月上旬には増穂中学校で、下旬には久那土中学校・下部中学校合同による体験学習が行われました。その他の9校も、2学期以降の実施が計画されています。

基本的な学習の進め方は、①事前学習（DVD視聴や講話による受精や胎児の成長・出産等の学習）→②プレ学習（おもりを身に付けての妊婦体験、人形を使った赤ちゃんの抱き方体験）→③体験学習（実際に赤ちゃんに触れたり抱っこしたりする体験、母親の思いを理解するための対話など）→④事後学習（体験を通して学んだことのまとめ、感謝の気持ちを伝えるお礼の手紙の作成等）となっています。実際に、赤ちゃんに触れ、その温もりを感じたり、その母親から妊娠・出産・育児に関する思いを聞いたりする中で、「命の尊さ」「自他を大切にできる心」の醸成を図ることを目的としています。今回の体験学習においても、和やかな雰囲気の中、3校の中学生すべてが真剣に取り組み、命の尊さや母親の子を愛しむ思いを深く感じ取ったことなのでしょう。事後のアンケートからも、「癒される。」「心が穏やかになる。」「命の尊さ・大切さを学ぶ機会になってありがたい。」などのメッセージが記され、この体験学習のもつ意義の大きさを表わしているように感じました。

この体験学習を進めるにあたり、各町や県保健福祉事務所の保健師さんや助産師さんたちが綿密な打ち合わせを行い、指導方法や準備品の確認、母親との連絡調整、講話や体験学習の指導など、精力的に進めてくださいました。また、多くのお母さん方が、大事な我が子を抱えながら、中学生の体験学習のためにと、会場まで足を運んでくださいました。多くの関係者の皆様の誠意により、この体験学習が実施できたことを、心から感謝申し上げます。



助産師さん・保健師さんによる思春期体験のための綿密な打ち合わせ



胎児の心音をマイクを通して確認



妊婦さんのお腹に  
タッチ！



実際の抱っこ体験！



久那土・下部中合同体験学習

## 富士川わくわく科学教室

6月7日（土）富士川町民会館にて、わくわく科学教室が開催されました。この教室は、放課後子ども教室の一つとして行われ、今年で18年目を迎えます。毎年、募集定員を大きく上回る応募があります。一年に5回、町在住・在勤の教職員が講師となり、様々な科学実験を提供しています。第一回目のテーマは「ドライアイス」。ドライアイスが入った水槽に火のついたろうそくやシャボン玉を入れると？、風船やふたを閉めてフィルムケースにドライアイスを入れておくと？、これらの実験をとおして、ドライアイスが溶けると二酸化炭素になることや気体になると体積が大きくなる（750倍）膨らむことなどを学んでいました。子どもたちは、科学のおもしろさを十分堪能しているようでした。



## 放課後子ども教室

### 身延発明クラブ

発明クラブは、身延（望月覚指導者代表）・甲府・都留の3地区にあります。身延発明クラブは、毎月第2・第4土曜日の午前中に活動していて、現在の会員数は19名です。状況によっては小学校1年生から、また町外からの参加も可能です。これまでに、「アルミ缶・スチール缶自動選別機」をはじめ多くの作品が入賞するなど、輝かしい実績を上げています。大河内小学校5年の望月彩愛（あやね）さんは、「一番楽しかったのは、みんなで作ったフォークラフトかな。」と楽しそうに話してくれました。冬には、身延総合文化会館に、電飾のクリスマスツリーを展示するそうです。現在、クラブ員とともに指導者も募集しています。



ソーラーカー作り





# 子育て支援リーダー・ステップアップ講座



県社会教育課が山梨県立大学と連携して行う「子育て支援リーダー・ステップアップ講座」に県内から 33 名の受講者があり、峡南地域から 5 名（市川三郷町 3 名・富士川町 1 名・身延町 1 名）が参加しています。この講座は、地域で子育て支援活動を行っている方などを対象としています。講座では、地域の間人関係の変化に伴う子育てへの不安感を解消するために、家庭教育・子育てにおける喫緊の課題について講義と実技演習を主体とした研修を進め、子育て支援者の養成と資質向上を目指します。この講座は 10 月までに 10 回行われ、ステップアップした修了者は地域において子育て支援活動を推進していくことになります。※第 5 回は公開講座となっています(下記参照)。

## よってけし！「公開講座」のお知らせ

前述のとおり県教育委員会では、県内各地の子育て支援者のための「子育て支援リーダー・ステップアップ講座(全 10 回)」を実施していますが、第 5 回は、午前の部「造形ワークショップ」午後の部「家族の今と私たちの実践」と題する公開講座になります。子育て支援関係者、行政担当者、小学生や乳幼児の保護者のみなさまなど、多くの方々の参加をお待ちしております。

**申込みは不要で、午前のみ・午後のみ参加も可能です。**

- ◆日時 8月4日(日)受付 9:30~10:00 公開講座 10:00~16:30
- ◆場所 山梨県立大学 飯田キャンパス講堂(甲府市飯田 5-11-1)
- ◆内容 造形ワークショップ・昼食を兼ねて受講者交流会  
シンポジウム「家族の今と私たちの実践」・私の子育て支援紹介
- ◆お問い合わせ・県教委 社会教育課 TEL055-223-1772



## 六郷小学校 砂防教室

6月26日(木)、5学年児童を対象に、砂防教室が開催されました。峡南建設事務所職員5名が講師を務め、講話やDVD視聴、土砂災害模型を使った実験などを通して、土砂災害を防ぐ様々な対策や災害から命を守るための留意点についてわかりやすく伝えていました。砂防教室の内容は次のとおりです。



①土砂災害の発生する仕組みや各地の被害状況の説明、②土砂災害を防ぐための砂防堰堤などの対策・災害から命を守るための留意点、③川遊びの紹介と川に入る際の約束、④簡易雨量計の使いかた、⑤土砂災害模型を使った土石流発生の実験です。災害から命を守るためには、大雨情報や災害発生する前兆(落石・崖の中からの出水・川の水の減少や濁りなど)に十分留意すること、普段から危険箇所と避難場所の確認や避難袋の用意をしておくことが大切です。これらのことを、5年生一人一人が改めて学び、これからの防災意識の高まりにつながりました。とても有意義な砂防教室でした。



## 市川高校 龍膽祭(りんどうさい)

市川高校の「龍膽祭」は、6月25日(水)と26日(木)の2日間。テーマを「飛翔100年のその先へ〜」と銘打って開催されました。今回が61回を迎える学園祭。開会式で橘田多喜夫校長は、「創立100周年を迎える記念すべき龍膽祭、大いに盛り上がり楽しもうではありませんか」とあいさつし、伝統と若々しいパワーに満ちあふれた行事となりました。



「if」、すなわち「いちかわファミリー」の合い言葉のもと、生徒と職員がひとつになって取り組む様子はまさに圧巻。特に2日目の午後のダンスコンテストでは迫真の演技が披露され保護者共々感動の渦に巻き込まれました。

